

志津公民館

## 志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、令和5年3月末現在では、佐倉市の総人口171,037人に対し志津地区の人口が75,024人となっており、その割合は43.9%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあったものを、老朽化と複合施設化のため、旧志津出張所跡地に「志津市民プラザ」として、平成27年11月末に新たにオープンし、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

### 志津地区のデータ

【令和5年3月末現在】

- 志津地区：面積 18.52km<sup>2</sup> （佐倉市：面積 103.69km<sup>2</sup>）
- 志津地区：住基人口 75,024人 （佐倉市：住基人口 171,037人）
- 志津地区：人口密度 4,050人/km<sup>2</sup> （佐倉市：人口密度 1,649人/km<sup>2</sup>）

# 1. 公民館運営計画

## 新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館、開館時間の短縮などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動における施設利用の留意点』を当面の間適用する。

## 運営方針

佐倉市教育ビジョンを基本として、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。

また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

## 努力目標

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止に努める。
- 多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援。
- 学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進。
- 学習した成果が地域社会に還元され、地域の人材が活用される環境づくりの醸成。
- 複合施設（志津市民プラザ）としての機能を効果的に発揮するため調整を行う。

## 事業内容

1. 学級講座の開設  
家庭教育と郷土学習を中心とした学級講座の内容充実。
2. グループや団体の育成援助  
公民館での学習活動や地域でのグループ活動の意義を理解する自主グループの育成援助。  
子ども会をはじめ青少年の健全育成を推進する各種団体への援助と相互連携。
3. 広報活動  
市民への情報提供や意見交換の場としての公民館だよりの発行と各種情報資料等の収集整備と提供。
4. 図書活動  
郷土学習などを中心とした図書の整備と館外貸し出し、及び図書館との連携。
5. 施設の提供
  - ・開館日時
    - ①日・月曜日、祝日 9時～17時
    - ②火・水・木・金・土曜日 9時～21時
    - \*夜間の使用申込がない場合は17時で閉館
  - ・休館日 第2・第4月曜日及び年末年始12月28日～1月4日

## 2. 公民館利用状況

### 年度別利用状況

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用件数 (件)	7,453	6,888	2,226	5,343	6,373
利用人数 (人)	92,177	85,649	20,144	45,978	63,632
開館日数 (日)	333	309	235	333	333

### 令和4年度部屋別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
210会議室	3,640	1,982	54.5%
220会議室	3,640	1,891	52.0%
201会議室	3,640	1,648	45.3%
202会議室	3,640	1,557	42.8%
調理室	3,640	202	5.5%
310会議室	3,640	1,701	46.7%
和室	3,640	907	24.9%
401会議室	3,640	1,684	46.3%
アトリエ	3,640	1,652	45.4%
大会議室A	3,640	2,265	62.2%
大会議室B	3,640	2,396	65.8%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、線引き事業については中止とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	笑顔で子育て応援講座	子どもと保護者	7/7 10人	保護者自身が自分と向き合える時間と場を提供し、子育ての悩みに寄り添う。 7/7 ハッピーマインドヨガ
青少年教育	志津子ども教室	小学生	8/2 16人 8/11 14人 10/16 19人 11/27 9人 12/3 17人 12/17.18 145人	体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 8/2 土器つと勾玉づくり 8/11 廃食油で作るエコせっけん 10/16 本立てを作ろう！ 11/27 手作りしましょう！クリスマスオーナメント 12/3 志津地区に伝わる辻ざり作り親子体験 12/17 たこづくり大作戦！ 12/18 たこづくり大作戦！
	ちょこボラ (公民館でちょこっとボランティア)	中学生 高校生	通年	青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。
成人教育	しづ学入門	成人 30人	5月～12月10回 土曜日 開講式 5/21 閉講式 12/17 講座 5/21～12/17	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現を図る。
	健康とくらし	成人 30人	5月～12月10回 火曜日 開講式 5/24 閉講式 12/6 講座 5/25～11/16	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、様々な情報を学びを通じて、地域の中で連帯を図る。
	みんなの家政学	成人 30人	5月～12月10回 木曜日 開講式 5/26 閉講式 12/1 講座 5/26～12/1	日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。
	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人 10人	10月～11月 10/26 10人 11/2 10人 11/9 10人 11/16 9人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。 10/26 基礎知識編 11/2 遺跡の紹介 11/9 遺跡の見学 11/16 今後のあり方
	佐倉学 佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」	成人 8人	10月～12月 10/28 8人 11/4 8人 11/11 8人 11/18 8人 11/25 7人 12/2 8人 12/9 6人	「佐倉学」の普及を図りながら、佐倉城主が通った「佐倉道」を歩き、城下町佐倉や周辺地域の歴史も含めて理解を深める。 10/28 座学：佐倉道を歩く（序論） 11/4 散策：江戸川～西船橋 11/11 散策：西船橋～薬園台 11/18 散策：薬園台～大和田 11/25 散策：大和田～臼井 12/2 散策：臼井～佐倉城大手門跡 12/9 追補：中山法華経寺
	佐倉学入門講座 志津地域散策	成人 10人	3/10 9人	志津北部地域の史跡を散策し、志津地域の理解を深める。
	包丁について学ぶ	成人 12人	1/13 9人	包丁の歴史や製法、手入れ方法を学び、生活の質の向上を目指す。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
団体育成	サークル運営 研修会	公民館利用 サークル代表者	4/15 書面開催 2/20 実地開催	サークル活動の意義、運営のあり方を学び、 自主性を高め地域活動につなげる。 ・書面開催発送数 291団体 ・実地開催参加数 78団体
	調理室利用 サークル懇談会	調理室 利用サークル	6月・11月 2回	調理室の効果的な活用と適正な運営・衛生管理の 向上を考え、懇談を通してサークル間の交流を 図る。
	志津地区社会教育 関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活 動を支援する。
	公民館園芸ボラン ティア団体への 支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
広報活動	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区 各戸配布 市内 主要施設配布	4/ 1 17,000部 9/15 400部 3/15 17,000部	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、 公民館活動への理解と認識を深めるととも に、各事業の参加募集を行う。

# 1. 家庭教育事業

## 笑顔で子育て応援講座

(1)「ハッピーマインドヨガ」

①開設趣旨 365日、子育てに奮闘される保護者のみな様に向けて、リラックスとリフレッシュができる時間と場所を提供する。保護者の悩みに寄り添うことで、子育てを応援する。

②募集対象 (1) 保護者10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者
1	7月 7日(木)	子育て講演会	ヨガを行いながら子育ての悩みに向きあう	ヨガインストラクター 千葉 由佳

④講座を終えて 当講座は、令和4年3月(令和3年度)に企画していたが、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置により延期となっていたものである。講師には、公共施設を中心にヨガの講義を行っているほか、児童発達支援に明るく、子育ての悩みに関するアドバイスもでき、受講生と同年代でもある千葉由佳氏にお願いした。本講座の対象は、午前10時から11時の間に子どもから離れていられる——子どもを保育園や幼稚園に預けている保護者がわずかな空き時間を利用してやってくるもの、あるいは、幼児のそばで保護者がヨガをするものと想定しており、そのため「初心者・お子様連れ歓迎」とうたって、チラシやLINEで受講者を募集した。

ところが、31名の申込者のうち、子どもを同伴したいという保護者が18名おり、子どもの年齢は0歳から3歳までであった。その時点で、乳幼児が保護者のそばにいる可能性は低いと判断し、急遽、家庭訪問型子育て支援を行っている団体に託児を依頼することになった。なお、実際に託児を受けたのは1歳児2名であり、講座と同じ会場のなかで十分に遊ばせることができ、こちらも安心して講座に取り組むことができた。

講座のメインであるヨガは初心者向けとのこと、どの受講者も難なくついていったようだ。1時間かけてヨガでリフレッシュしたあと、最後に講師が自分の子育ての中で起こる日々のイライラについて話した。講師曰く、「子どもと自分は別の人間だとわかっているのに期待しすぎてしまうからイライラしてしまうし、自分も良く怒っている」とのこと。これにより、受講者にも「講師も完璧な子育てをしているわけではない」「悩んでいるのは自分だけではない」ということの気づきを得たのではないだろうか。今日の講義を思い出し、リラックスしながら子育てをして欲しいと思う。最後に、こちらが想定していなかった層からの申込みが多かったことに見通しの甘さを反省するとともに、来年度の家庭教育事業は今回の応募状況を踏まえつつ実施方法を考えていきたい。

## 2. 青少年教育事業

### 佐倉っ子塾 志津子ども教室

①開設趣旨 自分で手作りする機会や体験する機会が少なくなったと言われる現代において、佐倉の地域素材を織り交ぜながら、体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む機会とする。

②募集対象 小学生

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	8月 2日(火)	土器っと 勾玉づくり	本物の縄文土器に触れ、 実際に勾玉を作成する	千葉県教育庁教育 振興部文化財課 宿城 孝義
2	8月11日(木)	廃食油で作る エコせっけん	廃食油を再利用して環 境に優しい石鹸を作る	千葉県地球温暖化 防止活動推進委員 廣田 由紀恵
3	10月16日(日)	本立てを作ろう!	角材から本立てを作る	千葉県教育庁教育 振興部文化財課 宿城 孝義
4	11月27日(日)	手作りしましょう! クリスマスオーナメント	季節飾りを毛糸やボタ ン等身近な材料で作る	ボランティア 佐藤 明日美
5	12月 3日(土)	志津地区に伝わる 伝統の辻ぎり作り 親子体験	佐倉の地域素材を織り 交ぜながら、辻ぎり体験 を行う	志津歴史同好会
6	12月17日(土) 12月18日(日)	たこ作り大作戦!	たこ作りキットを配布 し、各家で制作する	児童青少年課 青少年住民育成 会議

④講座を終えて これまで志津地区の小学校へチラシを配架して募集を行っていたが、今年度は佐倉市公式ホームページ、佐倉市公式LINEでの募集を行った。これまでに申し込みのなかった私立小学校からの申し込みもあり、講座の窓口を広げることができた。秋口に行った講座では、本立てや季節飾りを工作する内容で、参加者によっては苦戦する場面もあり、フォローできるように公民館担当者も作業手順を把握しておくことが重要だと考える。5回「志津地区に伝わる伝統の辻ぎり親子体験」では工作の面だけでなく、郷土の歴史を体験する側面もあり、広報課資料にある『井野の辻切り動画』、『志津駅散歩動画』を繰り返し流したが、もう少し資料として、見せられるものを用意し、親子で楽しめる時間を作れるよう工夫を行っていきたい。

## 3. 成人教育事業

### しづ市民大学（第33期）

①開設趣旨 志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。そこで、開設にあたり事業の視点を次の2点とし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。

- (1) 自主的な学習活動の促進  
(個人的な参加型の学習から地域への展開)
- (2) 生涯学習を進めるまちづくり  
(地域社会の活性化)

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

#### 【しづ市民大学運営関係図】



#### ②募集対象、募集人員

- |          |    |     |
|----------|----|-----|
| ・しづ学入門   | 成人 | 30人 |
| ・健康とくらし  | 成人 | 30人 |
| ・みんなの家政学 | 成人 | 30人 |

#### ③学習目標

・しづ学入門 志津地域や佐倉の歴史・文化・自然等について学習する。自らの学び経験を通して地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目指す。

・健康とくらし 生活様式が変化する中で心身の健康保持と増進を図り、地域の一人ひとりが自らの生活を見直すことで、心身ともに豊かで充実した人生を送ることを目的とし、「健康的な暮らし」「健やかな日々」を実現するための様々な情報を学ぶことにより、地域への還元を目指す。

・みんなの家政学 日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を中心に、生活にまつわる食事や家事、家庭の管理など、生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。

## ④プログラム

## しづ市民大学 「しづ学入門」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月21日(土) 9:15~13:00	開講式・ホームルーム・自己紹介等 1年間を充実した時間にするための仲間づくり	【志津公民館 大会議室A・B】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子
2	6月4日(土) 9:30~12:00	市民大学と地域づくり	【志津公民館 大会議室A】	元佐倉市職員 石井 肇
3	6月18日(土) 9:30~12:00	志津の話-いまむかし-	【志津公民館 大会議室A】	佐倉市 市史編さん委員 内田 儀久
4	7月2日(土) 9:30~12:00	志津地域散策	【志津地区】	NPO「佐倉一里塚」 ガイドボランティア
5	7月16日(土) 9:30~12:00	絵図から見る志津地域のあゆみ	【志津公民館 大会議室A】	酒々井町文化財審議会 高橋 健一
6	8月20日(土) 9:30~12:00	印旛沼の変遷 湖沼の生態系(現状と課題)	【志津公民館 大会議室A】	千葉県内水面水産研究所 職員
7	9月10日(土) 9:30~12:00	絵図から見る佐倉城下町	【志津公民館 大会議室A】	國學院大學兼任講師 川名 禎
8	10月22日(土) 9:30~12:00	日本遺産北総四都市江戸紀行の概要について	【志津公民館 大会議室A】	佐倉市教育委員会 文化課 職員
9	11月26日(土) 9:30~12:00	井野長割遺跡について学ぶ	【志津公民館 大会議室A】	佐倉市教育委員会 文化課 職員
10	12月17日(土) 9:30~13:00	近代史料からみた佐倉の人々の生活史 閉講式	【志津公民館 大会議室A】	佐倉市 市史編さん委員 中澤 恵子

## しづ市民大学 「健康とくらし」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月24日(火) 9:15～13:00	開講式・ホームルーム・自己紹介等 1年間を充実した時間にするための仲間づくり 【志津公民館 大会議室AB】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子
2	6月14日(火) 9:30～12:00	市民大学と地域づくり 【志津公民館 大会議室A】	元佐倉市職員 石井 肇
3	6月28日(火) 9:30～12:00	怒りや感情のコントロール方法について ー穏やかに暮らしていくためにー 【志津公民館 大会議室A】	成田富里徳洲会病院 公認心理師/臨床・学校 心理士 鈴木みのり
4	7月12日(火) 9:30～12:00	口から始まる健康習慣 他 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市健康推進課 職員
5	7月26日(火) 9:30～12:00	過去の災害から学ぶ 【志津公民館 大会議室A】	日本赤十字社千葉県 支部
6	8月9日(火) 9:30～12:00	いざというときの避難所運営ゲーム 【志津公民館 大会議室AB】	佐倉市危機管理課 職員
7	9月27日(火) 9:30～12:00	ニュースポーツ「ボッチャ」の体験 【志津公民館 大会議室AB】	元佐倉市職員 斉藤 英晴
8	10月25日(火) 9:30～12:00	理学療法士による介護予防体操 【志津公民館 大会議室AB】	成田富里徳洲会病院 理学療法士 斉藤 剛史
9	11月15日(火) 9:30～12:00	高齢者のための薬の知識 【志津公民館 大会議室A】	成田赤十字病院 薬剤部長 君和田 貢
10	12月 6日(火) 13:00～16:30	テレビニュースができるまで ～報道番組の裏側～/閉講式 【志津公民館 大会議室A】	テレビ朝日 出前講座

しづ市民大学 「みんなの家政学」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月26日(木) 9:15～13:00	開講式・ホームルーム・自己紹介等 1年間を充実した時間にするための仲間づくり 【志津公民館 大会議室AB】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子
2	6月 9日(木) 9:30～12:00	市民大学と地域づくり 【志津公民館 大会議室A】	元佐倉市職員 石井 肇
3	6月23日(木) 9:30～12:00	年齢に応じた食事術 【志津公民館 大会議室AB】	管理栄養士 六崎 美知代
4	7月14日(木) 9:30～12:00	料理道具とテーブルマナー 【志津公民館 大会議室A】	習志野調理師専門学校 校長 山崎 憲
5	7月28日(木) 9:30～12:00	食中毒を予防しよう 【志津公民館 大会議室A】	印旛保健所 職員
6	9月15日(木) 9:30～12:00	ゴミの出し方～家庭ごみの行方～ 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市廃棄物対策課 職員
7	9月29日(木) 9:30～12:00	セカンドライフの整理収納 【志津公民館 大会議室A】	整理収納研究所 代表 桑原 美栄子
8	10月27日(木) 9:30～12:00	大切な服のために洗濯上手になろう 【志津公民館 大会議室A】	和洋女子大学 服飾造形学科助教 桑原 里実
9	11月17日(木) 9:30～12:00	地域と家庭での防災 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市危機管理課 職員
10	12月 1日(木) 9:30～13:00	これで安心！家計の管理 閉講式 【志津公民館 大会議室A】	明治安田生命保険相互会社 派遣講師

#### ⑤講座を終えて

「しづ学入門」 自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目的に、志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習した。

通年ほぼ座学のしづ学入門コースであるが、その中でも、7月2日の志津北部地区の散策は受講生が楽しみにしていた講義である。だが、熱中症の危険があることから屋外での散策を中止し、公民館での座学となった。散策コースに沿った画像を使って、ボランティアガイドが懇切丁寧に説明する濃い内容であったが、受講生としては「実際に散策をできなかったことは残念」との思いが強く、このことは他の講義日でも常に話題に上がった。また、10回の講義では受講生同士の交流が少なく物足りないという意見もあった。

新型コロナウイルスの動向を見ながらの講義になってしまうのはいかんともしがたく、また、私的な交流も難しかったことと思われるが、様子を見ながら安全に講義を進めていきたい。

「健康とくらし」 自分らしく健康で、豊かな生活を送るためのきっかけづくりとするため、学びをとおしてこころとからだの健康を保つことを目的に学習した。本講座は、日々の暮らしの中で関心の深いテーマが主体となっており、健康にまつわる講義や体操の実技においては熱心に聴く姿が見られた。全体を通して、レクリエーションやワークショップが多い講座となるが、来年度においても学ぶ楽しみと活動するよるこびが感じられる学習の場に応えられるよう計画していきたい。

「みんなの家政学」 今年度から新コースとして始まり、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めることを目的に学習が進められた。受講者は、しづ市民大学自体の受講が初めてで、コース名に惹かれたという方と、これまで様々なコースを受講し、新コースが誕生したために受講したという方がいた。開講後は運営委員や過去市民大学受講経験のある受講生が新規受講生にコースの運営の方法や班の活動を率先して案内し、新コースであったが安定した講座運営が行われた。コースプログラムについては、受講生自身が普段の生活で感覚的に理解していると思われるものを体系立てた知識として提供できるように企画したが、全内容通して、専門的な用語については、注釈をつけるなどの工夫が必要と思われたため、次年度以降の改善点としたい。毎回の講座前に行われるホームルームでは、班ごとに交流が深められ、アンケート結果でも新しく親しくなれた出会いがあってよかったといった感想が目立った。しかし、コース全体での交流は社会的な背景から会場を確保することなどが難しく、今後の課題となった。

#### 佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」

①開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月26日(水)	考古学入門 佐倉の縄文時代	文化課職員 松田富美子

2	11月 2日 (水)	井野長割遺跡とは 遺跡概要紹介	文化課職員 小倉 和重
3	11月 9日 (水)	遺跡探訪し知識を深める (現地見学)	文化課職員 小倉 和重
4	11月16日 (水)	遺跡の今後について	文化課職員 松田富美子

④講座を終えて 「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000～3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し、新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。第4回目では、今後のあり方について学習し、講師の説明を聞き、今後の保存や活用について質問や意見を交換しあうなど活発な学習の場となった。  
アンケートでは、当時の人々の生活状況を思いおこし感銘を受けた、どのような「心」をもって生活していたのか強く感じた、などの感想があった。参加者全員が講座内容に満足という結果を得た。

### 佐倉学入門講座 佐倉道を歩く

①開設趣旨 佐倉城及び佐倉城下町造成より400年が経過し、かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」や城下町佐倉の周辺地域の歴史について理解を深め、街道に關する醍醐味を感じてもらいながら郷土への関心を高めていく。

また、江戸川から佐倉城址までを周辺の史跡も含めて全6回に分けて学び、地域で活躍できる人材を育成する。

②募集対象 成人 8人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月28日 (金)	佐倉道を歩く (序論)	佐倉道を歩く会
2	11月 4日 (金)	江戸川～西船橋	
3	11月11日 (金)	西船橋～薬円台	
4	11月18日 (金)	薬円台～大和田	
5	11月25日 (金)	大和田～臼井	
6	12月 2日 (金)	臼井～佐倉城大手門跡	
7	12月 9日 (金)	中山法華経寺 (※追補として)	

④講座を終えて この講座は、佐倉道に関して街道の史跡についての座学と散策として実施した。昨年度は佐倉道を歩く会の会員ができる限り全区間をフォローするために参加したが、今年度は、受講生の定員を安全確保ができる最大の範囲で増やす意図から、講師を担当する2名のみ、佐倉道を歩く会から出席することとし、受講生の定員を6名から8名に増やした。初回は、「佐倉道に関しての総論」として佐倉道の全体像等の講義を行い、2回目以降は座学で学んだ場所を実際に散策した。散策は現地集合、現地解散の形をとり、街道沿いの史跡散策を実施した。散策は受講生同士が学びや意見交換を啓発することを意図した。散策中は、周囲に注意し事故などにも配慮し効率的に学習をすすめることができた。今回の実施は、平成30年度の受講生が講師として実施する2回目

の講座であり、座学から散策までの講座終了まで、内容・時間管理ともに昨年と比較してより洗練されていた。また天候に恵まれたこともあり、受講者の要望と講師の厚意から、雨天順延用の予備日としていた日程を中山法華経寺を案内するための追補とすることができ、境内にある様々な史跡を一つひとつじっくりと学ぶことができた。受講者アンケートでは、概ね好評な結果であった。運動目的で参加した受講生からも、回数を重ねるごとに歴史散策の楽しさを発見できたと感想をもらい、佐倉を知ることでできる佐倉学講座としての目的も達成できたのではないかと考える。

### 佐倉学入門講座 志津地域散策

①開設趣旨 志津北部地域の史跡をガイドの説明を受けながら散策することで、志津地区について知識を深め、郷土愛や歴史文化への意識を高める。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	3月10日(金)	歴史散策(中学校駅集合)	NPO 法人佐倉一里塚 ガイドボランティア

④講座を終えて この講座は、本年度の佐倉学講演会に代わるものとして行ったものである。令和3年度に行った講演会は好評を得たものの、新型コロナウイルス対策による人の密接を避けた結果、参加50名程度の講演会となり、以前の100名以上参加の講演会と比べると矮小感が否めなかった。令和4年度も新型コロナウイルス対策の基準が緩和しないこともあり、今回は講演会の開催ではなく、市内在住10名向けに、ガイド付きの散策を通して、より深く志津地区を知ることが目的として、当講座を初めて開催することとした。

内容はしづ市民大学しづ学入門コースで行う予定だった「志津地域散策」を下敷きとし、志津北部地域である青菅と先崎の史跡を、ガイドの説明付きで巡る行程である。講師はこの地域でのガイド実績があるNPO法人佐倉一里塚に依頼した。

道程5～6キロメートル、道中に休憩がないことは事前に告知してはいたものの、受講生が歩き通せるか不安であったが、それも杞憂に終わった。

約2時間に渡る散策の長さについて「ちょうどよい」との回答が得られたほか、初の試みだけに、開催時期についても質問したところ、こちらも「ちょうどよい」とのことであり、3月上旬は極端に暑くも寒くもなく、散策に適していたようだ。

志津北部地域は交通も不便であり、個人で史跡を巡るにはなかなか難しい地域でもある。今回の講座はガイド付きであったことも含めて、受講生にも好評をいただき、有意義な事業であったと考える。

### 包丁について学ぶ

①開設趣旨 包丁の歴史や製法、手入れ方法を学び、生活の質の向上を目指す。

②募集対象 成人 12人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	1月13日(金)	包丁の歴史・製法・手入れ方法	調理師 山崎 憲

④講座を終えて 調理室の砥石の数に限りがあるため、定員を12人として募集をした。募集方法はこうほう佐倉、チラシ、佐倉市公式LINEの通知により行った。申し込み方法は従来の往復はがきに加えてオンライン申込フォームのいずれかを選択できる形とした。オンラインでの申し込みは52人、往復はがきでの申し込みは11人、合計63人と過去に実施した同講座の中で最も多くの申し込みがあった。これまでになかった30代、

40代からの申し込みがあり、オンラインでの申し込み新設により新しい受講年齢層を開拓できた。また、60代～80代の方もオンラインから多くの申し込みをいただき、高齢者＝オンライン申請が苦手という意識は担当者として偏見であったと反省した。講座内容では座学では包丁に関する歴史や製法、その材質等幅広く学び、実際に包丁研ぎ体験を行った。一人ひとりに先生が指導を行う事ができ、アンケート結果でも満足度の高い講座となった。受講生からの質問は包丁の扱い方から園芸用の鎌の砥方まで多岐にわたったが、講師はすべての質問に丁寧に受け答えをしていた。

## 4. 団体育成事業

---

### サークル運営研修会

- ①開設趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として 4月15日に書面開催し、令和5年2月20日には実地開催した。
- ②募集対象 志津公民館利用グループ・団体の代表者
- ③学習内容
  - ・志津公民館の施設使用について
  - ・公民館の役割について
  - ・令和4年度志津公民館サークル運営研修会ご意見等提出用紙による意見交換
  - ・令和5年度志津公民館サークルふれあいまつりについて
- ④今後に向けて 各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し実施した。公民館の施設・設備の有効活用と地域住民ニーズに則した適正な運営管理に努め、「多くの住民が集う公民館」「地域づくりの核」となるよう、施設・設備の充実及び利用者との連携を図っていく必要がある。

### 調理室利用サークル懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

### 志津地区社会教育関係団体への援助

- ①概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- ②加入団体 単子子ども会 9団体
- ③活動内容
  - ・活動支援相談・連絡調整

### 公民館園芸ボランティアへの支援

- ①概要 近隣の住民の方が公民館や西部保健センターの敷地内の花壇等の手入れをボランティアとして行い、活動を継続している。公民館は、それらにおける園芸・学習活動の支援を継続している。
- ②主な活動
  - ・公民館敷地内の花壇の手入れ
  - ・西部保健センターの花壇の手入れ
  - ・花についての自主学习

## 6. 広報・展示事業

### 志津公民館だより「しづ」の発行

- ①ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。
- ②発行回数 年3回（4月・9月・3月）  
 ※例年2回発行されるが、令和5年4月1日予定の発行分を、令和5年度しづ市民大学の募集案内を3月15日から行うために、前倒しで3月15日号として発行し、今年度は年3回発行とした。それに伴い部数調整のために9月15日号を市内施設配架のみとした。
- ③発行部数 4月・3月：各回17,000部 9月：400部
- ④配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架
- ⑤内容

第251号 (令和4年4月1日)	第252号 (令和4年9月15日)	第253号 (令和5年3月15日)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●募集案内（主催事業）</li> <li>・しづ市民大学</li> <li>●お知らせ</li> <li>・令和4年度志津公民館サークル運営研修会（書面開催）について</li> <li>・市内公民館の使用料金変更について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●募集案内（主催事業）</li> <li>・佐倉学入門講座 講演会 佐倉の城・城下町の記憶と歴史資源</li> <li>・佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ</li> <li>・お家時間応援講座 包丁について学ぶ</li> <li>●お知らせ</li> <li>・志津公民館インターネット抽選に申し込まれる方へ</li> <li>・駐車場を利用される方へ</li> <li>・公民館来た時よりも美しく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●募集案内（主催事業）</li> <li>・しづ市民大学</li> <li>●お知らせ</li> <li>・公民館だより「しづ」新聞折込終了について</li> <li>・手指消毒換気への配慮のお願い</li> <li>・公共交通機関のご利用と乗り合わせのお願い</li> <li>・志津市民プラザ利用者以外の駐車と駐輪のご遠慮をお願い</li> </ul>

- ⑥今後に向けて 今年度まで、公民館だよりは市内公共施設への配架と志津地区新聞各社の新聞折り込みにて配布をしていた。しかし、令和5年度以降は新聞折り込みが困難となるため、これまで以上にホームページや市SNSを通じた情報発信を強化していくことが重要だと考える。年齢層によっては情報が行き届かない懸念もあるが、今年度試験的に佐倉市広報および佐倉市HPのみでお知らせをした講座募集について、定員を大きく上回る応募があったこと、9割以上が60代以上からの申込であったこと、申込の絶対数は増えていることから、利用者にとっても利便性が高いと考える。